

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】令和 7 年 6 月 23 日(2025.6.23)

【公開番号】特開 2024-6296(P2024-6296A)
【公開日】令和 6 年 1 月 17 日(2024.1.17)
【年通号数】公開公報(特許)2024-009
【出願番号】特願 2022-107051(P2022-107051)
【国際特許分類】
H 0 1 R 13/24(2006.01)
【F I】
H 0 1 R 13/24

10

【手続補正書】
【提出日】令和 7 年 6 月 12 日(2025.6.12)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

一端が開口する有底筒状のチューブと、
前記チューブの前記開口から突出する接点部と、前記チューブの内側底面に当接する接触部と、前記接点部と前記接触部との間に位置する弾性変形部と、を有し、前記接点部と前記接触部と前記弾性変形部とは連続した 1 つの部材からなるスプリングピンと、を備えたコネクタ。

【請求項 2】

前記チューブの内側底面に凹部が形成され、前記接触部は前記凹部に当接する凸部を有する、請求項 1 に記載のコネクタ。

30

【請求項 3】

前記スプリングピンは基端側板状部を有し、前記接触部の前記凸部は前記基端側板状部に略半球状凸部として形成されている、請求項 1 又は 2 に記載のコネクタ。

【請求項 4】

前記接点部は前記チューブから突出する略半球状凸部として形成されている、請求項 1 又は 2 に記載のコネクタ。

【請求項 5】

前記弾性変形部は円弧状の周回部を有し、前記周回部の内周径よりも前記基端側板状部の外周径が小さい、請求項 3 に記載のコネクタ。

【請求項 6】

前記弾性変形部は円弧状の周回部を有し、前記周回部の外周径が前記接点部から前記接触部に向かって小さい、請求項 1 又は 2 に記載のコネクタ。

40

【請求項 7】

一端が開口する有底筒状のチューブと、
前記チューブの前記開口から突出する接点部と、前記チューブの内側底面に当接する接触部と、前記接点部と前記接触部との間に位置する弾性変形部と、を有し、前記接点部と前記接触部と前記弾性変形部とは連続した 1 つの部材からなるスプリングピンと、を備え、
前記接点部と前記接触部は前記スプリングピンの中心軸上に位置する、コネクタ。

50